

○ 9月6日(金)

府立学校スクールミーティング(鳥羽高校・定時制)



○ 畑 委員長

鳥羽高等学校定時制を訪問しました。夕刻5時に訪問すると、全日制の学生たちが様々なクラブ活動に汗を流し、元気な声を上げていました。

「みんなが待っていますので、まず給食を！」と案内されました。定時制の希望者には、給食制度があります。この日のメニューは、大きな煮込みハンバーグに春雨サラダ、野菜たっぷり具たくさんの味噌汁。ご飯とミルクが添えてありました。おいしくいただきました。

授業は難しいものもありました。色々な事情で夜の時間を費やして学校に通う生徒たちは、年齢も様々。私よりご高齢の方もおられます。学びたい、学んでおきたいという気持ちを持って、時間をかけてでも頑張ろうという姿に、静かに応援させていただきたいと感じました。「30年前に私自身がこの学校でお世話になったお陰で今日があるのです」との保護者のお話を聞かせていただいて、多様な教育の機会を設定し選択肢を多く設けることの意味を考えることができました。



○ 冷泉 委員

多様な学びの場があることを実感しました。

保護者の方から、この学校で学べてよかったという言葉をいただき、うれしい限りです。特に仲間と教師の温かい支えが子どもを成長させているというお話を聞き、それこそ教育の原点があると感じました。

今後も分かる授業、楽しい授業を工夫し、子どもの持つ能力、あるいは社会人の再入学者の期待に叶う学校になるよう、努力したいと思います。



○ 上原 委員

生徒たちと一緒に給食を食べさせていただき、いくつかの発見がありました。仕事を終えて駆けつけて来る生徒たちにとっては給食を提供する大切さは当然ではありますが、カウンターにお茶と共に薬を飲むための白湯が用意されていました。このような気遣いは一人一人をきめ細かく見ることができる定時制高校ならではの感心させられました。授業を参観し、定時制高校では生徒一人ひとりの個性を尊重して授業が進められていました。また保護者と意見交換をして、子ども達の様子やPTA運営の難しさ等について聞かせいただき、保護者が熱心に学校を支えていると感じました。

○ 9月6日(金)

府立学校スクールミーティング(鳥羽高校・定時制)



○ 安藤 委員

府立鳥羽高校を訪問し、夜間定時制の学校生活を拝見いたしました。学力を身につけたい、再チャレンジしたいと自ら定時制を選んだ実に多様な年齢の生徒の一生懸命に学ぶ姿を見ることができました。

就労を終えて次々と登校してくる生徒たちは、早朝から働く生徒や、アルバイトやパートなど就労の形も多様で、眠い目をこすりながらも授業を受ける姿は、真剣そのものでした。学校独自の学習活動を取り入れて学力の定着を図る工夫や、複数の教員が声掛けや見守りをするなど、親身で細やかな配慮が見られました。誰もが仕事をしながら学ぶ大変さを感じ、学年が上がるにつれ、しっかりと学習習慣が身に付いているように思いました。

保護者との懇談では、PTA活動を通して、子どもの学校生活や友だち関係など見守りながら、積極的に学校行事に参加したり、保護者同士の交流をもつなど、互いの悩みを理解し合い、親が親を応援する姿や、教職員と連携を図りながら学校を支援するといった学校との結びつきも非常に強く感じられました。学校に足を運んでみることで「何か自分も役に立ちたい」「ここに来て子どもが変わった」「よかった」など、明るく話す姿はとても印象的で、この楽しさが他の保護者にも波及し広がることを願っています。

生徒のみなさんと給食を食べたり、昨年度から取り組む「鳥羽定川柳」を読ませていただきましたが、定時制ならではの苦労や楽しさ、仕事や学校生活での経験がいっぱい入った生徒たちの素直な心や思いを感じました。仕事への理解を深めたり、社会人としてのルールやきまりを学んだり「社会に身をおいたときの自分」を考え、働くことを意識するように変化していく一日一日がたくさん詰まっていました。全日制では経験しがたい「働きながら学ぶ」といった環境で、教職員の見守りや助言も受けながら、たくさんの経験を積み重ね一人一人可能性を伸ばして行って欲しいですし、諦めずに着実に進路実現へ向かっていく力をつけて欲しいと願っています。